

このたび、広島大学は医系科学研究分野において、広島大学における「優れた大学教員の確保・育成のための方針～若手教員が安心して活躍する大学に～」に基づき雇用する教員1名(准教授、講師又は助教)を国際公募します。

この公募により雇用する教員の職名は、採用時の業績審査により、准教授(テニュア(終身在職権))、テニュアトラック教員(准教授、講師又は助教)のいずれかに決定します。テニュアトラック教員として雇用された場合で、テニュアトラック期間満了までにテニュア審査に合格することを条件として、准教授又は講師としてテニュア(終身在職権)を取得できる新たなポストとなっています。新たな分野を切り開く研究計画提案のもとに、腰を据えて教育研究に専念していただくことを前提としています。

したがって、採用時の審査においては、それまでの教育研究業績の審査に加え、テニュアトラック期間に留まらず10年程度の中長期的な研究計画の内容について審査します。テニュア審査においては、その過程の到達度と将来の展望を加味して総合的に審査します。

広島大学は、採用されたテニュアトラック助教に対して、スタートアップ支援経費を措置します。また、メンター教員の配置等により教員が自立して研究活動を行うことのできる環境を整備しています。なお、テニュアが付与されなかった場合に、テニュアトラック期間の満了する日の翌日から1年を限度として、特任教員として雇用できる環境も整えています。

広島大学の理念、長期ビジョン、中期目標(<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about>)にご賛同いただき、広島大学の教育研究を背負ってご活躍いただける意欲のある方をお待ちしております。

広島大学長 越智光夫

広島大学の人事制度改革については、以下のURL先をご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo>



2026年3月10日

関係各位

広島大学大学院医系科学研究科長
岡村 仁（公印省略）

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

創薬標的分子科学研究室ではタンパク質・核酸・ペプチド等のバイオ高分子の機能デザインを通じた次世代創薬技術（ゲノム編集技術、標的タンパク質分解技術等）の開発に関する研究を推進しています。本公募では、関連諸分野の高度な専門性を基盤として、既存の枠組みにとらわれず新規創薬領域を開拓できる人材を募ります。研究室運営においては、主宰者との協力体制のもと、国内外の研究機関等との連携を積極的に主導し、国際的なプレゼンスを高めることができる能力を重視します。

教育面においては、薬学モデル・コアカリキュラムに基づき、生化学・バイオ医薬品学等の専門教育を適切に分担・担当できる学識を有する人材を求めています。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 所属（配属）
広島大学大学院（大学院医系科学研究科）
2. 勤務地
霞キャンパス 広島市南区霞 1-2-3 その他大学が定める就業場所 等
3. 職名・人員
准教授，講師又は助教 1名
※採用時の業績審査により，テニュア教員（准教授），テニュアトラック教員（准教授，講師又は助教）のいずれかに決定
4. 採用予定年月日
2026年11月1日以降のできるだけ早い日
5. 任期又は有期雇用契約期間
【テニュアトラック制適用の場合】
7年（テニュアトラック准教授が准教授のテニュアを取得する場合，テニュアトラッ

ク講師が准教授又は講師のテニユアを取得する場合)

5年(テニユアトラック助教が准教授又は講師のテニユアを取得する場合)

- (1) 広島大学のテニユアトラック制に関する規則に基づき、テニユアトラック期間が満了する6月前までに准教授又は講師でのテニユアを付与するかどうかのテニユア審査を行い、これに合格すればテニユアを付与します。テニユア審査は、中間審査及び最終審査により行います。
- (2) 最終審査の結果、テニユアを付与しなかったときは、テニユアトラック期間の満了をもって退職となります。
- (3) テニユアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じテニユアトラック期間を一定期間延長することができます。

6. 従事する予定業務

(雇入れ直後)

- (1) 「7. 専門分野」の研究に関すること。
- (2) 「8. 担当予定科目」における授業及び大学院生・学部生への指導に関すること。
- (3) 全学及び研究科、学部、センター等における管理運営に関すること(各種会議への参加、各種委員会委員としての活動等)。
- (4) 入学者選抜に関すること(試験監督、問題作成、採点、面接員等)。
- (5) その他、教育研究等組織の長が指示する業務。

(変更の範囲)

大学が定める業務

7. 専門分野

化学系薬学/生体関連化学/ケミカルバイオロジー/ゲノム編集/標的タンパク質分解

8. 担当予定科目

以下の科目を担当することを予定します。

- (1) 教養教育科目：教養ゼミ、初修生物学 等
- (2) 学部(専門教育科目)：生化学 I, 生化学 III, 生化学 IV, 生理化学, 生物化学実習, 基礎研究 I, 基礎研究 II, 臨床研究 I, 臨床研究 II, 臨床研究 III 等
- (3) 大学院(博士課程前期)：細胞内情報伝達学特論演習, 細胞内情報伝達学特別研究 等
- (4) 大学院(博士課程後期)：生理化学特別演習, 生理化学特別研究, 先端薬科学研究概論 等

※ 担当いただく科目は変更又は追加する可能性があります。

9. 応募資格

次の要件をすべて満たす者

- (1) 博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)を有すること。
- (2) 博士課程後期、博士課程の論文指導を担当できること。
- (3) 大学院における博士課程前期の論文指導経験を有すること。
- (4) 大学院における博士課程後期あるいは博士課程の論文指導経験を有することが望ましい。
- (5) 英語による教育・研究指導ができること。

- (6) バイオ高分子の機能デザインに基づく次世代創薬科学に関連する、次に掲げるいずれかの研究を赴任後に展開できること。
- ① 新規ゲノム編集技術の開発および分子メカニズムの解明に関連する研究
 - ② バイオ高分子のデザインに基づく標的タンパク質分解制御に関する研究
 - ③ バイオ医薬品の高度化に向けた機能性分子の設計と応用に関する研究
 - ④ 化学的手法と生物学的手法を融合したケミカルバイオロジー研究
 - ⑤ 構造情報や計算科学に基づく合理的分子設計と創薬応用に関連する研究

10. 応募書類

- (1) 推薦状（自薦も可）……………様式任意
 - (2) 履歴書 ……………Form 1・2
（過去5年間に広島大学で雇用（TA, RA, 研究員等を含む）されたことがある場合は、漏らさず記載してください。）
 - (3) 業績目録 ……………Form 3・4
 - (4) 主要業績要旨 ……………様式任意
（主要業績5編の要旨について、それぞれ日本語（約400字）又は英語（約200語）で記入）
 - (5) 薬学教育・研究に対する抱負と中長期計画 ……………様式任意
（薬学教育・研究に対する抱負及び薬学分野に対してどのように貢献するか（中長期計画）について、日本語（約2,000字）又は英語（約1,000語）で記入）
 - (6) 主要論文5編の別刷（コピー可）……………各1部
- ※応募書類の様式は、以下のURLからダウンロードし、日本語又は英語で作成してください。
<http://hiroshima-u.jp/employment/kyoinkobo/bhs>

11. 応募期限

2026年4月10日（金）17:00（日本標準時）（必着）

12. 応募方法

件名を「創薬標的分子科学教員応募」として、本文に氏名を明記したうえで以下メールアドレスまでオンライン応募を希望する旨をご連絡ください。1週間以内に応募方法をご連絡いたします。

応募連絡は、所属機関のメールアドレス、プロバイダーメールアドレス等の利用を推奨します。フリーメールアドレスは推奨しません。

E-mail: kasumi-jinji[at]office.hiroshima-u.ac.jp

※[at]は@に置き換えてください。

13. 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は、原則として、英語による模擬授業を行います。ただし、交通費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。なお、書類審査通過者に面接を行う場合は、その形式について、別途連絡します。
- (3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。

14. 勤務形態

- (1) 勤務時間 8:30～17:00（月～金）、休憩時間 12:00～12:45（専門業務型裁量労働制の適用に同意した場合は、1日7時間45分働いたものとみなされます。）
- (2) 勤務日は、原則として月曜日から金曜日（祝日を除く。）です。
- (3) 休日は、原則として土曜、日曜、祝日となります。

15. 給与等

- (1) 採用となった方には、年俸制（II）（2021年10月施行）が適用されます。
- (2) 採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせください。

※本学は、競争的研究費や共同研究費などの直接経費から研究者の人件費を支出することにより、確保された財源を研究者自身の処遇改善（給与の上乗せ）や研究環境改善に活用できる仕組みを導入し、研究者が安心して研究に集中できる環境を整備しています。

16. 評価

本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。

17. 募集者名

国立大学法人広島大学

18. その他

- (1) 試用期間：あり（6月間）
- (2) 応募書類により取得する個人情報は、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。
- (3) 定年年齢は65歳です。
- (4) 広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。
- (5) 配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。
- (6) 広島大学では教員の分野ごとに採用最低基準を定めています。人事選考過程の第一次選考において本基準を適用し、最低基準を満たした方を選考対象といたします。本公募で適用する採用最低基準は以下のURLに掲載しています。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/>
- (7) 広島大学では本人事以外にも本学の求人情報（研究職、事務職等）を提供しています。配偶者が就業を希望される場合等にご参照ください。
求人情報：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment>
- (8) 広島大学は、2020年1月からキャンパス内全面禁煙となっています。

19. 問い合わせ先

広島大学大学院医系科学研究科 教授 野村 渉

TEL:082-257-5308

E-mail:wnomura[at]hiroshima-u.ac.jp

※[at]は@に置き換えてください。